



あ
ぐ
ら

発行

角館中学校 PTA 広報部

印刷 / 膳写堂印刷

青 嶺

栄えある 31 期生

～ 心をつなぎ 頂を目指そう ～



ご卒業おめでとうございます
そして、ありがとうございます

学校長 佐藤 心一

平成二十七年四月六日、新任式が行われました。私は、ステージに立ち、新任の先生方があいさつを終え、生徒代表「歓迎の言葉」をいただきました。その瞬間、角館中学校は変わった、と聞いておりましたが、本当に素晴らしい学校に変わった、と実感しました。

その感動はその後、数々の場面で続きます。運動部での活躍、文化部での活躍が、玄関前に栄光を貼り出す畠山仁先生がうれしい悲鳴をあげるほど、連続します。職員室・校長室前の優勝旗、優勝カップ、トロフィーは所狭しと並べられることとなりました。

学校行事の主役も三年生でした。特に、合唱コンクールは、高校入試の面

角館中学校を巣立つ皆さんへ

PTA会長 仲野谷 勝洋

三年生の皆さん、いよいよ中学校最後の行事、卒業式が近づいてきました。残りわずかの中学生生活となり、卒業生の皆さんはこの角館中学校で過ごした三年間を振り返って、今、どんな思い出が胸に浮かんでいますか？

授業で学んだこと、部活動で頑張ったこと、修学旅行の楽しかった思い出、合唱コンクールや校内陸上競技大会、生徒会活動など、様々なことが大切な思い出として、心に残っていることと思います。

皆さんはこの角館中学校に入学してから、当たり前のように学校に来て机

接練習で、「中学校生活の中で一番印象に残ったできごと」ナンバーワンでした。三年生のハーモニーをドナルドで聞いたとき、審査員として私は思わず感動で涙があふれそうになりました。学級の中で様々なトラブルがあったにもかかわらず、この一点にかける一人一人の集中力があのホールを揺らしたかに思えました。

三年生の皆さんのおかげで、角館中学校は大いなる成長を上げました。その大きな牽引車としての皆さんに、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

角館中学校生徒として誇りをもって学び舎を巣立つてください。

を並べた友達は、三年間を共に過ごして、今ではかけがえのない思い出を共有できる、大切な友達になっています。

もうすぐ卒業して、これから皆さんそれぞれ別々の道に進むわけですが、ぜひともこの角館中学校で出会った友達を大切に、心の拠りどころとして、さらに成長してもらいたいと思います。

青嶺学年百二名全員の一層の飛躍を大いに期待して、はなむけの言葉とさせていただきます。

(三A 樹生・三C 颯太)

卒業おめでとう

青嶺

栄えある三十一期生に

三年部主任 奈良淳一

作家・司馬遼太郎さんが好きだった言葉、「名こそ惜しけれ」。私欲を恥とし、他者に尽くす精神で、鎌倉武士のモラルであり心意気であつたものです。簡単に言えば、「恥ずかしいことをするな」ということです。

先日、テレビのドキュメンタリー番組で取り上げられていました。何気なく観ていたら、青嶺学年の「私がやります」というフレーズが頭に浮かびました。偶然ですが、卒業式の合唱「決意」は司馬さんの二十一世紀に生

「三年間の仲間」 一生の仲間

三年学年部長 柏谷真一

伝統ある角中中学校を卒業することができるといふ榮譽ある三年生の皆さん、本当におめでとう。

この三年間、中学校生活をどのように送ってきましたか。

勉強や部活動、友達と一緒に活動したこと。良いことや楽しいことばかりではなく、ちよつといけないことをして叱られたり、失敗して面白くない思いをしたりもしたと思います。

そういった、たくさんの思い出が経験となり、一段一段大人への階段を、間違いなく、そして着実に上がっていつていることでしょう。中学校を卒業して、これからは

きる君たちへ」に基づくメッセージソングです。

あなたの声に耳を澄まし
あなたの心にほとばしる愛を知る
歴史を愛し
自然を敬い
他人にやさしく
自分に厳しかったあなた！

他人にやさしく親切な青嶺学年にふさわしい曲だと思っています。卒業おめでとうございます。

感謝の気持ち

戸澤清香

青嶺学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

真新しい制服に身を包み、緊張して迎えた入学式。あつという間に最高学年となり、自信にあふれ凛とした表情をみて、頼もしく感じています。

個性豊かで、明るく、仲の良い青嶺学年。仲間との絆を強く感じたのが、学年合唱です。一体感と歌声に感動し、涙しました。

これから、それぞれ違う道に進んでも、中学校での思い出が、今後の人生の糧となり、大切な宝物となることでしょう。幾度となく、辛い、悲しい事が訪れても、その一つ一つが大人になるための経験です。行事や部活動を通して培った「角中魂」を持つ皆さんなら、きつと乗り越えられるはずですよ。決して諦めないでください。

今の皆さんがあるのは、一人一人に寄り添ってくれた先生方、優しく見守ってくれた地域の方々、支えてくれた家族がいたからです。「ありがとう」は魔法の言葉です。感謝の気持ちを忘れず、人生を切り拓いて下さい。(三A 一久)

卒業に寄せて

赤上育江

青嶺学年のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

十五の春を、みなさんはどのような気持ちで迎えているのでしょうか。様々なことが走馬燈のように思い起こされます。

中学校生活最後の一年間は、たくさんの諸活動があり、そのたびごとに少しずつみなさんの成長を感じることができました。特に私

が心に残っているのは、全県少年野球大会での全校応援です。

真夏の暑いスタンドで、一心に声援をおくるみなさんの姿を見て、涙が止まりませんでした。自分のやってきた部活もあるのに、他の部のために一生懸命になれる。こんな中学生の一面な姿に自分が忘れていたものを感じ、すがすがしい気持ちになりました。

十五の春の向こう側にはどんなことが待っているのでしょうか。どんな扉を見つけて、どう開いて進むのでしょうか。中学校生活で学んだことや経験したことを糧にし、支えてくれる仲間や周囲の人を大事にして歩み続けてほしいと思います。親として、そして物好きなおばちゃんとして、みなさんを応援しています。(三B 洸)

「はなむけの言葉」

鈴木伸介

やる気がないのをその気にさせ、元氣なく出かける我が子を心配な思いで見送る。そんな生活も終わります。卒業の日を迎えました。御父兄の方々お疲れ様でした。そして先生方には本当に感謝です。ありがとうございます。

さて本題。生徒諸君、大人は義務を果たし、君たちは必要とされる教育を受けられた。義務教育終了のおめでどう。そして、役割交代。君たちの尻を叩く大人はもういない。諸君は自分の人生のため、周囲に援助を乞う立場になった。準備期間終了だ。

ひたむきに限界に挑むブレーヤーはスタジアムで大声援を受ける。やる気のない奴にはブーイングだ。勘違いしないで欲しい。観衆が感動するのは彼が夢を追って

いるから？才能があるから？多分違う。ただ愚直にボールに食らいついていくからだ。目の前のボールこそが彼の現実で、そこに必死に挑んでいるからだ。

忘れないでね

米澤 恵美子

青嶺学年の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間ご指導してくださった先生方、ありがとうございます。

振り返ると三年間は、本当にあつという間に過ぎたのではないかと思います。様々な出来事が思い出となったことでしょう。今はまだ、これからの未来への希望や夢、不安な気持ちがいっぱいで、思い出を振り返ったりしないかもしれない。中学校生活を思い出したりするのは、皆さんがもう少し大人になってからでしょうね。

これから皆さんは、自分で選んだ未来へ歩き出します。楽しいことや嬉しい事がたくさんあるように幸せだと感じて生きてくれることを願ってやみません。

自分の夢を叶えることは、たやすい事ではありません。これから皆さんは、その事を知っていくでしょうね。今まで、周りで支えてくれた人達がいます。これからも支えて、見守ってくれる訳ではないのでその事だけは、忘れないでください。応援しています。頑張ってください。

ご卒業おめでとうございます。(三D 悠介)